

DNSSECの理想と現実

—そのIPアドレス管理への影響—

太田昌孝

東京工業大学情報理工学研究科

mohta@necom830.hpcl.titech.ac.jp

概要

- 通常のDNSは既に十分安全
 - DNSSECの必要性は消滅
 - 特に、アドレス逆引きは安全
- DNSSECのサーバ側の運用は容易
 - 手間が増え、ドメイン管理の手数料は上がるが
- DNSSECのリゾルバ側の運用は不可能
- リゾルバ側の運用不可能性を放置したまま
 - サーバ側の運用資金を要求するのは、詐欺

DNSSECの理想

- DNSは危険！？
 - DNSに本当のセキュリティを！？
 - 公開鍵暗号技術の導入
 - これで、DNSは暗号的にセキュア！？
 - 1995年(?)に開発開始
- 最初のRFC(RFC2065)は1997年に発行
 - 1999年に改訂版(RFC2535)、問題あり
 - 2005年に二訂版(RFC4033~5)、DS追加等
 - 順調に進化？

DNSSECの現実

- いくつかのドメインでは導入
- 利用者側には全く相手にされず
 - 労多くして、益なし
- 理想的な環境ではリゾルバも動作するが
 - 現実的な環境での実運用は、事実上不可能
 - メッセージサイズ、NAT、時刻、、、
- DNSSECの暗号学的前提
 - TTP(Trusted Third Party)が信頼できる
 - TTPが暗号学的に信頼できるわけではない

現行DNSのセキュリティ

- 現行DNSはWeakly Secure
 - 問と答をメッセージIDで照合
 - 問のメッセージIDの推測が難しく、問や答が途中のISPで盗聴も改竄されなければ、偽の答を排除可能
 - リゾルバが最初に使うネームサーバが信頼できるなら
 - 順次紹介されるネームサーバも信頼できるはず
 - 現行DNSは、各ISPと各ネームサーバ管理者（各ゾーン管理者）が信頼でき、問と答が照合できるなら、セキュア

現行DNSのセキュリティの 弱点と対策

- 追加情報(特にグルーA)のオーソリティ問題
 - ネームサーバが与える追加情報は信用できない
 - 子ゾーン内のグルーAしか認めない(やりすぎだが)
- メッセージIDは16ビットしかないので
 - 誕生日攻撃により容易に偽の答を挿入可能
 - 256回程度の試行で、高確率で攻略可能
 - TCPではシーケンス番号により安全、UDPは問のソースポート番号を乱雑化

現行DNSのセキュリティの 現状

- 現行DNSは、ちゃんと実装すれば一応安全
 - もはや、DNSSECは不要？
- とはいえ、ソースポート番号の乱雑化だけでは多少不安
 - TCPなら安心・安全
 - 重い？
 - DNSSECでは、TCPがどのみち必要
 - なら、TCPだけあればよく、DNSSECは不要

DNSSECの開発経過

- D. Eastlakeが最初のドラフトを作成
 - セキュリティの専門家であって、DNSには無知
 - RR単位での認証くらいは、説明すれば理解できた
 - CNAME、レフェラル、メッセージ長等、DNSのデリケートな点は、いくら説明しても無理解
 - 多くは今では修正されたが、メッセージ長は手つかず
 - » DNSKEY RR集合は、KSKとZSKがごっちゃなため巨大で、512Bに収まらず
 - » EDNSで救済できるはずだったが、、、もはや、1500Bに収まるかどうか、怪しい

DNSSECの仕組み

- セキュアなゾーンは秘密鍵をもち、それで、
 - ゾーンのデータに署名
- 親ゾーンの秘密鍵で
 - 子ゾーンの公開鍵に署名
- あるゾーンの公開鍵を持ったリゾルバは
 - そのゾーンや子孫のセキュアなゾーンのデータを
認証可能
- 署名には署名の時刻と有効期間あり

DNSSECのセキュリティの前提

- 暗号学的前提
 - ゾーンの秘密鍵が悪用されない
 - ゾーン管理者は、いわゆるTTP(Trusted Third Party)
 - セキュアな時刻が利用可能
- プロトコルの前提
 - 512バイトを遥かに超えるメッセージ受信が可能
- どの前提も、常に成立するとは期待できない

TTPは信用できるのか？

- 暗号学的には、何の保証もない
 - 暗号学的には、TTPが信頼できるというのは仮定であって、結論ではない
- ゾーン管理者が信頼できないなら
 - DNSデータがセキュアじゃないのは当然
 - DNSSECは、もともと大層なセキュリティは提供しない
 - メッセージIDやISPが信頼できなくても、ゾーン管理者さえ信頼できれば、答が信頼できる、という程度
 - 苦勞に見合うセキュリティなのか？

セキュアな時刻同期

- RFC2535によると、NTPというのがあるらしいが、、、
 - だから？
 - 運用は？
 - セキュアにしろというけど、鍵は？
- RFC4033~5では、言及なし
 - もはや、誰も何も考えてない？

512バイトを超えるメッセージ

- EDNS拡張をみんながサポートすれば、、、
- NATでは、相手にされていない
- NATによっては、IPフラグメントがまともに動かない
- NATでの、ポート53へのTCPは？

		Out of the Box Usage Mode	Route DNS to Upstream Resolver	Proxy DNS over UDP	A. EDNS0 Compatibility	B. Signed Domain Compatibility	E. Request Flag Compatibility	D. Checking Disabled Compatibility	C. DNSSEC OK Compatibility	Proxy DNS over TCP
2Wire	270HG-DHCP	Proxy	OK	OK	FAIL	OK	OK	FAIL	FAIL	FAIL
Actiontec	MI424-WR	Proxy	OK	OK	FAIL > 512	OK	OK	OK	OK	FAIL
Apple	Airport Express	Proxy	OK	OK	FAIL > 512	OK	FAIL	FAIL	FAIL	OK
Belkin	N (F5D8233)	Proxy	OK	OK	FAIL > 1500	OK	OK	OK	OK	FAIL
Belkin	N1 (F5D8631)	Proxy	OK	OK	FAIL > 1500	OK	OK	OK	OK	FAIL
Cisco	c871	Route	OK	OK	FAIL > 512	OK*	OK*	OK*	OK*	FAIL
D-Link	DI-604	Proxy	MIX	OK	FAIL > 1472	OK	OK	OK	OK	FAIL
D-Link	DIR-655	Proxy	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	FAIL
Draytek	Vigor 2700	Proxy	OK	OK	FAIL > 1464	OK	FAIL	FAIL	OK	FAIL
Juniper	SSG-5	Route	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	FAIL
Linksys	BEFSR41	Varies	OK	OK	FAIL > 1472	OK	OK	OK	OK	FAIL
Linksys	WAG200G	Varies	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	FAIL
Linksys	WAG54GS	Varies	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	FAIL
Linksys	WRT150N	Varies	OK	OK	FAIL > 512	OK	OK	OK	OK	FAIL
Linksys	WRT54G	Varies	OK	OK	FAIL > 512	OK	OK	OK	OK	FAIL
Netgear	DG834G	Proxy	OK	OK	FAIL > 512	OK	FAIL	FAIL	MIX	FAIL
Netopia	3387WG-VGx	Proxy	OK	OK	FAIL > 512	OK	FAIL	FAIL	FAIL	FAIL
SMC	WBR14-G2	Proxy	MIX	OK	FAIL > 512	OK	OK	OK	OK	FAIL
SonicWALL	TZ-150	Route	OK	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a
Thomson	ST546	Proxy	OK	OK	FAIL > 512	OK	OK	OK	OK	FAIL
WatchGuard	Firebox X5w	Varies	OK	FAIL	FAIL	FAIL	FAIL	FAIL	FAIL	FAIL
Westell	327W	Proxy	OK	OK	FAIL	OK	OK	FAIL	FAIL	FAIL
ZyXEL	P660H-D1	Proxy	OK	OK	FAIL > 1464	OK	OK	OK	OK	FAIL
ZyXEL	P660RU-T1	Proxy	OK	OK	FAIL > 1464	OK	OK	OK	OK	FAIL
	Make/Model	DHCP DNS	No Proxy	UDP Proxy Transport Tests		UDP Proxy DNSSEC Tests			TCP Proxy	

Table 2. Test Result Summary

http://www.internetdagarna.se/arkiv/2008/www.internetdagarna.se/images/stories/pdf/domannamn/Steve_Crocker_administrationofdnssec.pdf

Summary Results

	OK Out of the Box	Configurable	Client Routable	Unusable	Total
DHCP Behavior					
A. Route	3				3
B. Proxy then Route	2	4			6
C. Proxy; changeable	1	5			6
D. Proxy; not changeable			7	2	9
Total	6	9	7	2	24

http://www.internetdagarna.se/arkiv/2008/www.internetdagarna.se/images/stories/pdf/domannamn/Steve_Crocker_administrationofdnssec.pdf

DS (Delegation Signer)の迷走 RFC2535 → RFC4033～5

- 子ゾーン鍵の署名を
 - 子ゾーンで持つと、親子の通信が大変？
 - どうせ通信は必要なので、たいした問題ではない
 - 親ゾーンで持たないと、セキュアでない子ゾーンをそうと認証するために、子ゾーンに負担？
 - もともとの要求が破綻
 - DNSSECを要求するなら、セキュアじゃない答は役立たず
 - 親ゾーンで持たないと、親の鍵変更時の子ゾーンへの連絡が大変
 - だとすると、ルート鍵の変更は事実上不可能

親鍵変更の通知と ルート鍵の変更の通知

- 子鍵の署名を子が持つと
 - 親鍵変更で、子の持つ署名の変更が必要
 - 親から子への連絡が大変？
 - 親子ゾーンの管理者間の連携は元々必須なので、問題なし
- ルート鍵は、リゾルバが持つ
 - ルート管理者とリゾルバ管理者は、一般に無関係、何の連携もない
 - ルート鍵変更時のリゾルバ管理者への連絡は、無理
 - 秘密鍵が漏れた場合や、鍵変更を一度逃した場合は、自動更新は無理

DNSSEC vs CDN

- CDNでは1ドメイン名に数十のAを持ち、一時にはそのうち数個を返すことがよくある
 - 答として、数十から数個を取り出すの全ての組み合わせにすると、必要な署名の数が爆発するが
 - 組み合わせを限定すれば、実用上何も問題はない
 - 問題は、Aの答と署名のマッチング
 - Aの答に対応する署名が付随していない場合
 - 自分の持つ答に対応する署名を得ることは、不可能

DNSSEC運用の現状の概要

リゾルバ側

- NATとの相性
 - 一部のNATではDNSSEC利用不可
- CDNとの相性
 - DNSSECでは、毎回異なる答は返せない
- 時刻同期
 - そこまで手がまわっていない
- ルート鍵変更
 - 各種提案はあったが、絶望的

DNSSEC運用の現状の概要

サーバ側

- NATとの相性
 - NAT?なにそれ?
- CDNとの相性
 - 署名は用意できる
- 時刻同期
 - 手であわせれば、十分
- ルート鍵変更
 - 変えるだけ

そもそもDNSSECを どう使うのか？

- 最初は、キャッシュ汚染問題だけだったはず
 - 既に解決済み
 - では、DNSSECのメリットは？
- DNSSECを必要とするなら
 - セキュアじゃないゾーンからの答は？
 - 信頼できない以上、全く使えないはず
 - DNSSECが使えない環境では
 - 何もできないはず

DNSSECと逆引き

- DNSSECを使えば、ゾーン管理者さえ信頼できれば
 - ISPの盗聴やパケット改変があっても大丈夫
 - ゾーンの根元や幹線ISPは、まあ信頼していいかもしれないが、、、
 - 問題は、末端(組織内等)のISPやゾーン
 - 末端ISPは末端逆引きゾーンの管理者なので
 - ゾーン管理者を信頼するなら、DNSSECは不要
- DNSSECが逆引きに必要ななら
 - 逆引き登録がない場合は、何もできないはず

そもそも 何のための逆引きか？

- アクセス管理をドメイン名で行う場合
 - 相手のドメイン名を知る必要あり
 - 正引き(ドメイン名→IPアドレス)は、自称ではない
 - IPアドレス→ドメイン名がどれだけセキュアでも
 - IPアドレスが信頼できなければ、意味なし
 - 相手のIPアドレスは、3ウェイハンドシェイク等で(ISPが信頼できれば)信頼できる
 - ISPが盗聴、改変すれば、詐称可能

おわりに

- 普通のDNSは既に十分安心・安全
- DNSSECによりISPを信頼する必要なし
- DNSSECのサーバ側の運用は
 - 金さえかければ簡単
- DNSSECのリゾルバ側の運用は
 - 不可能
- DNSSECを逆引きで利用することは
 - 結局ISPを信頼することになり、無意味